

社会医療法人 総合病院 医療ソーシャルワーカー

2022年3月介護福祉士養成大学卒業生

- 1 職場紹介
- 2 仕事内容
- 3 医療ソーシャルワーカーのやりがい
- 4 今後のキャリアアップ
- 5 在校生へのメッセージ



社会医療法人 A総合病院

病床数：310床／急性期一般 240床、HCU 10床、SCU 3床、回復期リハビリテーション病棟 57床

★一般急性期病棟

各診療科の専門的な治療や検査・手術など急性期治療を行う病棟。急な病気やケガなどによる入院治療、全身状態の管理などが必要な方が対象。

★回復期リハビリテーション病棟

脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者さんに対し、寝たきり防止と在宅復帰をする為の障害を出来る限り改善させ、日常生活の自立を図ることを目的としたリハビリテーションを積極的かつ集中的に行う病棟。

患者サポート・入退院支援センター

医師、看護師、社会福祉士、事務など多職種から構成される。

- ・入院支援看護/病床管理
- ・地域医療連携室
- ・患者支援室



社会福祉士(介護支援専門員、介護福祉士、精神保健福祉士)5名、退院支援看護師4名



- ①医療・介護・福祉等の相談受付
- ②退院・転院支援
- ③社会資源サービスの調整
- ④虐待対応・生活困窮者への支援
- ⑤介護事業所等との連絡相談窓口

医療ソーシャルワーカーとは？

医療機関で、患者・家族が抱えている経済的・心理的・社会的な問題を、福祉の観点から支援する。問題を把握し、課題解決のために関係各所との調整、連携を行う。問題を整理・検討し、地域に繋げていく役割。

- ①療養中の心理的・社会的問題の解決、調整援助
- ②退院支援
- ③社会復帰支援
- ④受診・受療支援
- ⑤経済的問題の解決・調整援助
- ⑥地域活動



1日のスケジュール

時間	業務内容
8:30	朝礼(1日のスケジュールの確認)
9:00	電話対応(各医療機関、公的機関、ケアマネージャー、家族への連絡)
10:00	多職種カンファレンス(医師、看護師、リハビリ、栄養士、歯科衛生士と情報共有) 新規入院患者の情報収集
11:00	病状説明+リハビリ見学+退院前調整会議(本人・家族・ケアマネージャー・医療職) 今後の方針を説明
12:30	昼休憩
14:00	病棟業務(退院支援/病棟業務) 患者家族や関係機関との調整、経済的・社会制度全般・療養先選定等
16:00	記録整理
17:30	退勤

大事な役割

治療を優先する病院の中で、患者さん・家族の思いを大切に、
入院前・退院後の生活に着目すること



リハビリを頑張って家に帰りたい。
リハビリが出来る施設に行きたい。
頼れる親族はいない。



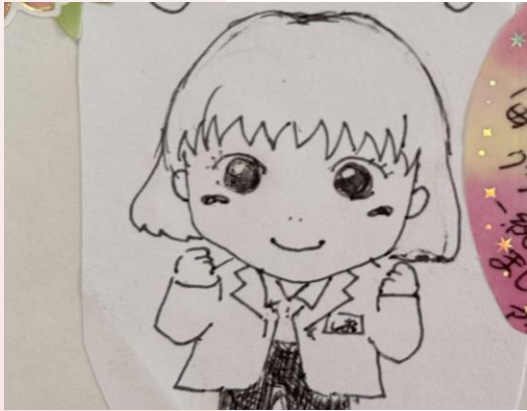
今後一人暮らしが不安。
高齢の妻と二人で年金暮らしで、経済的な余裕はない。



最期は慣れた家で過ごしたい。
入所していた施設に帰りたい。



今後のキャリアアップ(目標)



新卒 1年目

病院に慣れる事に精一杯の日々・・・☹

退院支援看護師とペアで指導を受ける。



2年目

いよいよ病棟配属。ひとり立ちへ。基礎的な制度・病院機能についてはある程度理解出来たが、毎度違うケースに葛藤。



3～4年目

新人ではなくなる3年目。病院内・地域の中でも繋がりが増え連携を大事にすると共に、目の前の事だけでなく先を見据えた支援ができるようになりたい。



5年目～10年目

具体的な目標は未だありませんが、医療ソーシャルワーカーとして成長すると共に、その経験を活かした視点を持ち介護・地域福祉に、専門的に携わりたい。

大学生活で介護コースに入り、仲間に出会えて、先生方から学べたことは、何よりもかけがえのない時間だったと思っています。

**実習に課題に国家試験の勉強、、と大変な事も沢山あるかと思いますが、社会に出た今、全てが自分の自信になっている事を感じます。
これからも一緒に頑張りましょう。**